

<速報>

\* 8月1日午前零時、英領からの独立以来、インドとパキスタンの国境地帯に残っていた162ヶ所の飛び地を整理・解消する領土交換が両国の間で発効。母国から隔絶され敵5万人以上の住民がそれぞれ新たな国籍を選択した。

\* 8月1日早朝、トルコ軍がPKKのイラク北部拠点に対して空爆、少なくとも民間人8人以上が死亡、12人が負傷した。同日、イラクのクルド自治政府のバルザニ議長が同国北部にあるPKKの拠点をトルコ軍が空爆し、多数の死者が出たことを受けて声明を出し、空爆を非難するとともにすべての当事者に和平プロセスへ戻るよう求めた。

\* 8月2日未明、トルコ東部のアール県の憲兵隊の駐屯地でPKKによると見られる自爆テロが起き、少なくとも兵士2人が死亡、24人が負傷した。

\* 8月2日、ケリー米国国務長官がエジプトを訪問し、シュクル外相と会談。2013年にムルシ元大統領が軍に解任されて失脚して以来、冷え込んでいた両国関係を本格的に改善する戦略対話であり、「イスラム国」などへのテロ対策での協力やエジプトの経済回復へ向けた支援などを協議した。

\* 8月2日（日本）、安保関連法案に反対する高校生グループのティーンズ・ソウルが容共の渋谷でデモを行い、飛び込みを含めて5000人が参加した。

\* 8月2日付けの米紙『ウォール・ストリート・ジャーナル』（電子版）が、米軍の訓練を受けたシリア反体制派が国内でアサド政権を含む敵対組織から攻撃を受けた場合、米軍が空爆支援することをオバマ大統領が承認したと報道。

\* 8月3日（日本）、7月26日に「法的安定性は関係ない」と発言した礒崎陽輔首相補佐官が参議院特別委員会に招致され、発言を撤回して陳謝したものの、辞任を否定。

\* 8月3日、スペインのカタルーニャ自治州のマス州政府首相が州議会選挙を9月27日に実施する政令に署名。

\* 8月3日、ブラジル国営石油公社ペトロブラスの汚職事件で、連邦警察が資金洗浄などの疑いでルラ前政権のジルセウ元官房長官を逮捕したと発表。

\* 8月4日、国際移住機関（IOM）が欧州を目指して地中海を船で渡ろうとして死亡した難民や移民希望者の数が年初からこれまでに2000人を超えたと発表。前年同期の犠牲者数は約1600人だった。

\* 8月4日（日本）、菅義偉官房長官が記者会見で米軍普天間飛行場の同県名護市辺野古への移設問題で、8月10日から9月9日までの1ヶ月間、移設に関わる工事をすべて中断し、沖縄と集中的に協議を行うと発表。

\* 8月5日（日本）、参議院安保法制特別委員会で岸田文雄外相が、共産党の大門みきし議員が「中国脅威」論に根拠がないことを事実に基づいて指摘したのに対して、「日本政府は中国を脅威とみなしていない」と明言。

\* 8月5日、米国のデービス国防総省報道官が、トルコ南部インジルリク空軍基地から飛び立った無人機が「イスラム国」を標的に空爆を1回実施したと発表。同基地を拠点とし

た同組織への空爆は初めて。

\* 8月5日、米州機構（OAS）の人権委員会がキューバのグアンタナモ米軍基地内で運用されるテロ容疑者収容施設の閉鎖を求める報告書を公表。

\* 8月5日、フランス政府が同国でロシア海軍向けに建造された「ミストラル級」のヘリ空母2隻について、契約を破棄したと発表。

\* 8月6日、安倍首相が広島原爆投下70年の「平和祈念式典」で挨拶し「“核兵器のない世界”の実現に向けて、一層の努力を積み重ねていく」と述べたが、非核三原則には言及せず。首相の式典が定例化した1994年以降で三原則に触れなかったのは初めて。

\* 8月7日早朝、アフガニスタンの首都カブール中心部にて国防相付近に止まっていたトラックに仕掛けられていた爆発物が爆発し、15人が死亡、約240人が負傷した。犯行声明はなし。

\* 8月7日夜（日本）、国会前で安保関連法案に反対するSEALsが提起抗議行動を行い主催者発表で6000人が参加。共産党、民主党の国会議員も参加。同日夜、首相官邸前で川内原発の再稼働に反対する首都圏反原爆連合が抗議行動、主催者発表で4800人が参加。

\* 8月7日、イギリスに拠点を置くシリア内戦の反体制派NGO [シリア人権監視団] が「イスラム国」がシリア中部カリヤタンで女性45人、子ども19人を含む住民230人を拉致したと発表。キリスト教徒60人以上も含まれている、

\* 8月7日、マリ中部セバレで武装グループがホテルを襲撃しマリ軍と銃撃戦となり、少なくとも兵士5人、武装グループ2人が死亡、容疑者7人が拘束された。犯行声明は出ていない。

\* 8月7日、アフガニスタンの首都カブールの住宅地で爆発物を積んだトラックが爆破され住民ら15人が死亡、400人近くが負傷。同日夜、アフガニスタンの首都カブールで警察学校への自爆テロが発生、幹部候補生ら25人が死亡、またNATO軍事基地への攻撃も発生、少なくとも35人が死亡。

\* 8月8日、トルコのクルド系政党、国民民主主義党（HDP）のデミルタシュ党首が南東部の都市バンで記者団に対し、政府への攻撃を強めているPKKは「停戦を守ると宣言すべきだ」と述べ、政府に対しては軍事作戦を停止しPKKとの和平交渉を再開するよう求めた。

\* 8月9日、仙台でSEALs・TOHOKU（7月14日結成）が「戦争ヤバいっしょ！学生デモパレード」を行い約600人が参加。

\* 8月9日、長崎市で平和記念式典が開催され約6800人が参列。田上富久市長は平和宣言の中で安保関連法案に関して「憲法の平和の理念が揺らいでいるのではないかという不安と県念が広がっている」と指摘。安倍首相は式典に出席し挨拶の中で「非核三原則」を堅持しつつ“核兵器のない世界”の実現に向けて、国際社会の核軍縮の取り組みをしゅどうしていく」と表現。

\* 8月10日午前1時頃、トルコの最大都市イスタンブールのファーティヒ警察署前で自動車爆発、警官3人と民間人7人が負傷。午前6時半頃現場検証していたところに銃撃が加えられて銃撃戦となり警官1人と実行犯2人が死亡。同7時、同市内の米国総領事館に対する銃撃が発生、実行犯は女2人と見られ、1人は拘束された。拘束された女は反政府極左組織「革命家解放党戦線」(DHKP-C)のメンバー。警察官を狙った爆破・銃撃も相次いで発生。

\* 8月10日、イラク中部ディヤシ州で自爆テロと見られる爆発が2件相次ぎ、合わせて40人以上が死亡。「イスラム国」が犯行声明を发出。

\* 8月10日、米国ミズーリ州ファーガソンで黒人少年が白人警官に射殺された事件から1年を迎え、同町で抗議行動が起こり、11日には丸腰の黒人青年が警官に射殺される事件が発生。

\* 8月12日、ナイジェリア北東部ポルノ州のサポンガリ村の市場で爆弾がさく裂、少なくとも47人が死亡、50人が負傷した。「ボコ・ハラム」の犯行と見られる。

\* 8月11日(日本)、九州電力が川内原発1号機の原子炉を起動し、再稼働させた。東日本大震災後の新規制基準化で全国初の再稼働となった。原発前では市民約350人が終日抗議行動。東京都内でも官邸前で数百人が抗議行動。

\* 8月12日(日本)、沖縄県の翁長雄志知事が沖縄県庁で菅義偉官房長官と会談し、辺野古移設をめぐる県と政府による1回目の集中協議を行った。翁長県知事は、「原点は(米軍による普天間基地の)強制接收だ」と主張。一方、菅官房長官は1996年の日米合意を原点とする立場を示し、双方の立場の違いが改めて浮き彫りとなった。

\* 8月12日午後3時過ぎ(日本)、沖縄県名護市からうるま市付近の東側の海上で、「米軍所属のヘリが墜落した」との連絡が米軍側から第11管区海上保安部にあった。在日米軍司令部によると、米陸軍所属のMH60ヘリコプターが輸送艦への着艦に失敗し、乗員17人のうち7人が負傷、うち2人は自衛隊の中央即応集団の「特殊作戦群」隊員。米陸軍の特殊作戦部隊は沖縄県読谷村のトリイ施設に第1作戦群(空挺)の約300人が駐留。

\* 8月12日、エジプト東部シナイ半島を拠点とする「イスラム国シナイ半島」がカイロ郊外で拉致したクロアチア人の男性を殺害したとする画像をネット上に発表。

\* 8月13日、イラクの首都バグダッド北東部のイスラム教シーア派居住区サドルシティにある市場でトラックに仕掛けられた爆弾が爆発、少なくとも62人が死亡、125以上人が負傷。

\* 8月13日、トルコの少数与党・公正発展党(AKP)と野党第1党共和人民党(CHP)の連立政権樹立交渉が決裂、他の2党が連立に慎重なため、早ければ11月にも総選挙が実施される見込み。

\* 8月13日夜(日本)、衆参両議院会館前で「戦争法案絶対反対」抗議行動が行われ約2000人が参加。

\* 8月13日、IMFが対ギリシャ交渉責任者の同国訪問終了に当たって声明を発表し、

今後の金融支援について、EUやECBがギリシャの債務負担の軽減に応じることを条件とする方針を表明。

\* 8月14日、ギリシャ議会がEUなどからの総額850億ユーロの金融支援のための「財政改革」法案を300議席中賛成222で可決、与党急進左派連合（SYRIZA）の43人が造反して反対または棄権。

\* 8月14日（日本）安倍首相が官邸内で記者会見し、戦後70年にあたっての談話を発表。「侵略、「植民地支配」という言葉は盛り込んだものの、日本の行為としては明示せず、戦後50年の村山富市首相談話が示した立場を事実上、投げ捨てた。自らの言葉としても、「反省」、「お詫び」を表明せず。また、「あの戦争には何ら関わりのない、私たちの子や孫が、そしてその先の世代の子どもたちに、謝罪を続ける宿命を背負わせてはならない」などと暴言。

\* 8月14日、EUのユーロ圏財務相会合がギリシャに対し3年間で最大860億ユーロの新たな記入支援を行うことで正式に合意。

\* 8月14日、ロドリゲス・キューバ外相が同国訪問中のケリー米国国務長官に対して、米国との全面的な国交正常化には、米国が半世紀以上もキューバに押し付けている経済封鎖の解除が不可欠だと改めて全面解除を要求。また渡航や金融取引の一部緩和などオバマ大統領が進めている措置を拡大するよう求めた。

\* 8月14日夕（日本）、国会正門前で安保関連法案に抗議してSEALsが抗議行動を主催、主催者発表で約7000人が参加。

\* 8月15日（日本）、政府主催の全国戦没者追悼式が日本武道館で開かれ、安倍首相は式辞で「戦争の惨禍を決して繰り返さない」とする一方、アジア諸国への加害責任には今年も焦れなかった。一方、天皇陛下は「おことば」で「さきの大戦に対する深い反省」と述べた。首相の式辞では1993年の細川護熙氏以降、アジア諸国への「深い反省」と「哀悼の意」などを表明し、加害責任に言及することを踏襲してきたが、安倍首相は3年続けて加害責任への言及を避けた。

\* 8月15日（日本）、国会正門前で安保関連法案に抗議する抗議行動が行われ約2000人が参加。

\* 8月16日、パキスタン東部パンジャブ州で自爆テロがあり、ハンザダ州内相ら14人が死亡。犯行声明は出ていない。

\* 8月16日、イギリスのシリア腎炎監視団によると、政府軍が反体制派が勢力の強いダマスカス近郊のドゥーマを空爆、少なくとも82人が死亡、250人が負傷。

\* 8月16日、ブラジルで国営石油公社ペトロブラスを舞台とした汚職事件に抗議し、ルセフ大統領の辞任を要求するデモが全国150都市で一斉に行われ、警察発表で70~85万人が参加（最大都市のサンパウロでは35万人）。3月、4月に続いて今年3回目。与党系の市民ら約5000人が制憲擁護を訴えた。

\* 8月16日、米国テロ組織監視団体SITEが、「ボコ・ハラム」の指導者アブバカル・

シェカウ容疑者が音声メッセージを公開したとソーシャルメディアを通じて公表。

\* 8月16日（日本）、中谷元防衛相が沖縄県を訪問し、翁長雄志県知事と稲嶺進市長とそれぞれ会談。中谷防衛相は「辺野古への移設が唯一の解決策」とする政府方針に理解を求めたが、翁長・稲嶺両氏とも反対する姿勢を強調。

\* 8月17日夜、タイの首都バンコク中心部の商業施設が集中するチャプラソン交差点近くにあるヒンドゥー寺院付近で大きな爆発があり、少なくとも12人が死亡、30人が負傷。テロ行為の可能性があるとされる。

\* 8月18日、ギリシャ政府が国内の14地方空港の運営権をドイツの空港運営会社プラポートに12億3000万ユーロで貸与することを承認。

\* 8月18日、欧州対外国境管理機関（FRONTEX）が7月に確認されたEU側への難民や移民希望者が10万7500人に上り、2008年の統計開始後初めて10万人を超えたと発表。年初から7月までの総数は約34万人となり2014年中の28万人を上回る。

\* 8月18日、トルコのダウトオール首相が首都アンカラ黄河の大統領官邸でエルドアン大統領と会談し、自身が率いる与党・公正発展党（AKP）と野党各党の連立交渉が不調に終わったと報告した上で、組閣権限を返上。

\* 8月19日、欧州安定メカニズム（ESM）が財政危機にあるギリシャに今後3年間で最大860億ユーロの新たな支援を行うことを理事会で承認したと発表。

\* 8月19日、ドイツのデモジエール内相が今年と同国への難民申請者数の予想を大幅に引き上げ、80万人に達するとの見通しを示した。昨年の申請者は約20万人で欧州最多。

\* 8月19日、トルコ南東部シールト県で幹線道路に仕掛けられた爆弾がさく裂し、装甲車で走行中であつた兵士少なくとも8人が死亡。PKKの犯行と見られる。同日、イスタンブールの観光名所「ドルマバブチェ宮殿」付近で警備に当たっていた警官が襲撃され、1人が負傷。実行犯2人が拘束されたが「革命人民解放党・戦線（DHKP/C）」のメンバーと見られる。

\* 8月20日、エジプトの首都カイロ郊外で自動車爆弾がさく裂、警官ら少なくとも29人が負傷。犯行グループはオートバイで逃走。「イスラム国」による犯行声明がツイッターに投稿された。

\* 8月20日、米国のカーター国防長官が記者会見でキューバのグアンタナモ米軍基地のテロ容疑者収容施設について「次の大統領に残してもよい課題ではない」と表明。同長官は、収容者を米国内に移送する計画を作成中であると説明。

\* 8月20日、ギリシャのチプラス首相がパブロプロス大統領に辞表を提出し、早急に総選挙を行うよう要請。与党急進左翼連合（SRIZA）議員148名中25名が脱党して新党を結成。

\* 8月20日、イスラエル軍がゴラン高原のシリア側からロケット弾4発が発射され、2発がイスラエル北部ガリラヤ地方、2発がゴラン高原のイスラエル側に着弾したと発表。

イスラエル空軍がゴラン高原のシリア側にある軍事施設14ヶ所を報復攻撃。

\* 8月20日、各国国防相が北朝鮮軍が同日午後3時頃南北の軍事境界線に近い韓国京畿道漣川郡に砲弾1発、午後4時10分頃には数発を撃ったと公表。

\* 8月20日、ブラジルで与党・労働党（PT）が呼びかけたルセフ政権支持の集会・デモが全国各地で取り組まれ、野党側が大統領辞任要求を拒否するとともに政府が進める緊縮策を中止するよう求めた。最大都市サンパウロではデモ開始前の集会で約6万人が参加、全国の不要としてそれぞれ数万人が参加した。

\* 8月21日、米国ホワイトハウスが8月18日にイラク北部モスル近郊で実施した空爆で「イスラム国」のファイデル・ハヤリ幹部を殺害したと発表。「イスラム国」でアブバクル・バグダディに次ぐ「副司令官」だった。

\* 8月21日、北朝鮮の朝鮮中央通信が金正恩第一書記が同日午後5時から各前線部隊が完全に武装し、「準戦時状態」を宣言する命令を出したと報じた。韓国の朴ウネ大統領も不測の事態に備えるため、21日の日程をすべて中止した。

\* 8月21日、ベネズエラのマドゥロ大統領が演説でコロンビアとの国境を無期限に閉鎖するとともに、国境地帯の自治体を対象に非常事態令を出したと表明。

\* 8月21日、グアテマラの検察が官僚らが相次ぎ逮捕された関税汚職の捜査に関連しペレス・モリナ大統領が関与した十分な証拠があると明らかにした。

\* 8月22日、アフガニスタンの首都カブールでNATO部隊の車列を狙ったと見られる自爆テロが発生し、NATOの請負業者の米国人3人を含む12人が死亡。「タリバン」は犯行を否定。

\* 8月22日、韓国と北朝鮮の高官が南北の軍事境界線上にある板門店で会談を始め、北朝鮮側は北朝鮮体制の問題や韓国の優位性を宣伝する韓国軍の「軍事放送」の中止と拡声機の撤去を要求。会談には韓国側から金寛鎮・大統領府国家安保室長と洪容杓統一相が、北朝鮮側から黄炳瑞・軍総政治局長、金養建・朝鮮労働党統一戦線部長が出席。23日午後に恵贈され、24日午前も続けられたが、交渉は継続。

\* 8月22日夜、イエメンの「アラビア半島のアルカイダ（AQAP）」が南部の中心都市アデンの一部（西部）を掌握し、行政庁舎にアルカイダの黒旗を掲げた。

\* 8月23日、「イスラム国」がシリア中部のパルミラで世界遺産に認定された古代都市遺跡の中でも保存状態がよいことで知られるパール・シャミン神殿を破壊。

\* 8月23日、国会周辺で連合が安保関連法案に抗議する行動を実施し、主催者発表で約1万4000人が参加。一方、SEALsが表参道駅周辺で抗議行動、主催者発表で6500人が参加。さらにSEALsは京都で1800人、沖縄で500人等が参加、福岡では「ママの会」など3団体が抗議行動を実施。

\* 8月23日、チュニジア国営テレビが同日アルジェリア国境でイスラム過激派との銃撃戦があり、国境警備隊員1人が死亡したと発表。

\* 8月24日（日本）午前零時45分頃、神奈川県相模原市中央区にある米国陸軍相模原

総合補給廠で爆発火災が発生し、鉄筋鉄骨平屋建ての倉庫約900平米が全焼し、約6時間半後に鎮火した。

\* 8月24日、ドイツのメルケル首相がベルリンでフランスのオランド大統領、ウクライナのポロシェンコ大統領と会談後の記者会見で、政府軍と親ロシア派の戦闘が激化するウクライナ東部情勢に関して「停戦を実現するために全力を尽くさなければならない」と訴えた。

\* 8月25日付け『朝日新聞』が（日本）、23日に世論調査を実施、「戦後70年談話」については「評価する」が40%、「評価しない」が31%、内閣支持率は38%で横ばい（7月18～19日の緊急調査では37%）、不支持率は41%（同46%）だった。

\* 8月25日未明、板門店で開かれていた北朝鮮と韓国の高官会談が合意に達し、内容を盛り込んだ共同報道文が発表された。地雷爆発事件で韓国軍下士官が負傷したことについて北朝鮮が「遺憾」を表明。韓国側は報復措置として再開した「宣伝放送」を25日正午から中断し、北朝鮮側も「準戦時状態」を解除することになった。

\* 8月26日（日本）、日弁連主催で元最高裁判事や元内閣法制局長官、憲法学者など法律の専門家が弁護士会館に集会、安保関連法案を「違憲」と指摘したうえで反対を表明、約300人が参加。同日全国の大学の「有志の会」も都内で記者会見を開催（108の大学が反対声明、うち80台から2250人が。その後、日弁連の呼びかけによる日比谷野音での集会が行われ約4000人が参加。

\* 8月26日、IAEAが特別理事会を開き、イランの核開発制限を定めた同国と欧米など6ヶ国との最終合意に基づき、イランでの査察、監視活動を大幅に拡大することを決定。

\* 8月26日、メキシコ・シティでゲレロ州イグアラでの学生43人の虐殺について真相究明を求めるデモが行われ数千人が参加。

\* 8月26日、ウクライナ東部で戦闘を続ける同国政府と親ロシア派がベラルーシの首都ミンスクで和平協議を行い現地での新学期が始まる9月1日から停戦を厳格化することで合意。

\* 8月26日、ハンガリー警察がセルビアとの国境から不法入国を試みる移民の取り締まりを強化するため、9月から警官約2100人を国境地帯に追加配備することを発表。

\* 8月27日（日本）、「総がかり行動実行委員会」が国会前集会を行い、主催者発表で2400人が参加。

\* 8月27日、オーストリア政府が同国南部の高速道路上に駐車された冷凍車から窒息死したと見られる71人の遺体が見つかったと発表。現場はハンガリーに首都ブダペストとウィーンを結ぶルートにあたり、ギリシャからバルカン半島を北上してEU内に入った中東、アジアなどからの難民や移民の可能性が高い。

\* 8月27日、リビア沖の地中海で欧州での難民申請希望者を乗せてイタリアに向かっていた密航船が沈没し、リビア治安関係者によると約200人が死亡した。

\* 8月28日、トルコ軍がシリア領内国境に近い北部アレッポ北方の「イスラム国」支配

地域への有志国連合との共同空爆に初めて参加。29日、トルコ政府が米軍主導の有志連合に参加すると表明。真の目的はシリア北部で台頭するクルド人勢力を牽制することにあると見られる。

\* 8月28日（日本）、SEALsが国会周辺で安保関連法案に反対する抗議行動を行い主催者発表で約4000人が参加。

\* 8月28日、国連難民高等弁務官事務所が地中海を渡って欧州に到着した難民や移民希望者が年初からこれまで30万人を超えたと発表。過去指向だった2014年の1年間の総数は21万9000人。ギリシャに約20万人、イタリアに約11万人。死者・行方不明者は約2500人。

\* 8月28日夜、トルコのダウトオール首相が組閣断念に伴う11月1日に実施される再選挙までの暫定政権の閣僚を発表。各党で政権を分担するとして憲法の規定にお従い。同国史上初めてクルド系の国民民主主義党（HDP）から2人が入閣。

\* 8月28日、米国中央軍の報道官が「イスラム国」でインターネットを使って欧米などの若者を戦闘員として勧誘したりテロの指示をしたりしていたとされる宣伝担当の幹部を中央軍の空爆で殺害したと発表。

\* 8月29日（日本）、京都の円山音楽堂で安保関連法案に反対する京都弁護士会主催の「緊急府民大集会」が開催され4500人が参加。兵庫県では神戸、姫路、尼崎、豊岡で共同行動が行われ計6000人が参加。その他、北海道、弦間、山梨等の各地で集会が実施される。

\* 8月30日、国会正門から霞ヶ関～日比谷公園にかけての地域で「総がかり実行委員会」主催の安保関連法案に反対する抗議行動が行われ、主催者発表で12万人が参加（警察は国会周辺だけで3万人と発表）。全国では300ヶ所で数十万人が参加。大阪2万5000人、金沢2800人、広島県内各所で計2600人、那覇2500人、新潟2000人、熊本2000人、高知1500人、旭川1200人、静岡1100人、山形1000人、水戸1000人、長崎800人、徳島700人、さいたま650人、長野600人、福岡600人、青森500人等。

\* 8月30日、サイジアラビア主導の連合軍機がイエメン北西部ハッジャ州の飲料水工場を爆撃、労働者ら36人が死亡。同日、首都サヌアでは市内南部の軍事基地への攻撃で、爆弾が民家を直撃し、民間人4人が死亡。

\* 8月31日、ドイツのメルケル首相がベルリンでの記者会見で、EU各国が負担を公平に分ち合えなければ域内の移動の自由を認めた「シェンゲン協定」（1985年）の見直しも検討課題になると表明。

\* 8月31日、フランスのバルス首相がイギリス入りを目指す移民・難民が多数押し寄せている北部の港湾都市カレーを訪れ、約1500人規模の移民キャンプの設立を表明。